

経営比較分析表

佐賀県 伊万里市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	0.08	100.00

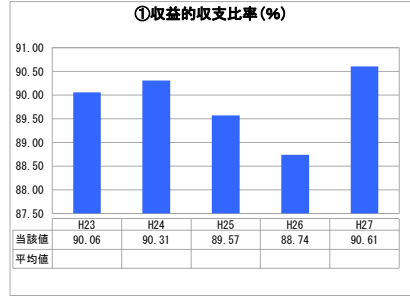
1か月20m³当たり家庭料金(円) 3,420

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
56,339	255.25	220.72
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
43	0.93	46.24

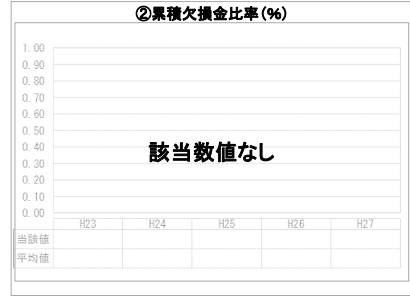
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



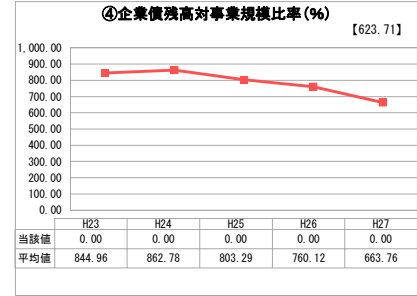
「単年度の収支」



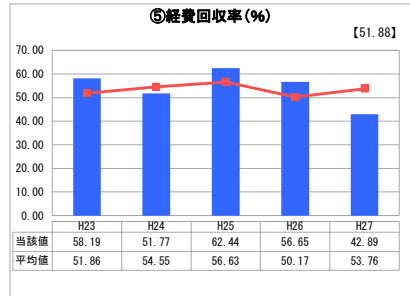
「累積欠損」



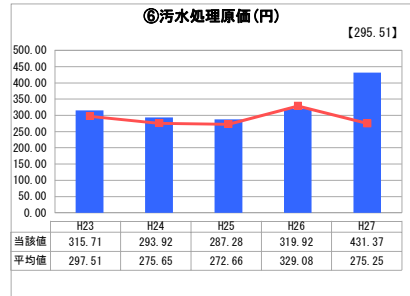
「支払能力」



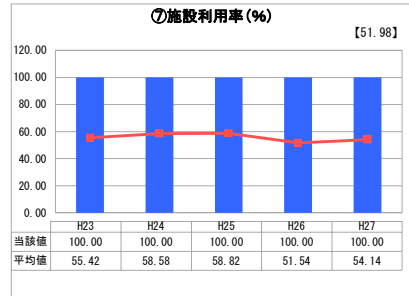
「債務残高」



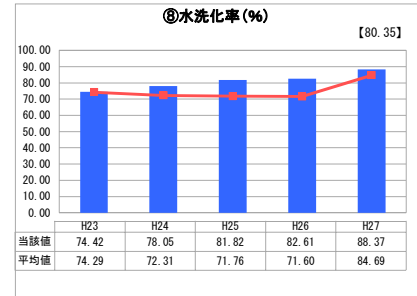
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

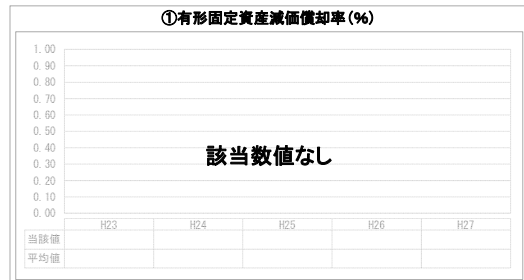


「施設の効率性」

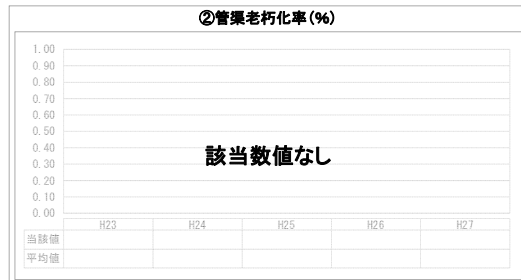


「使用料対象の捕捉」

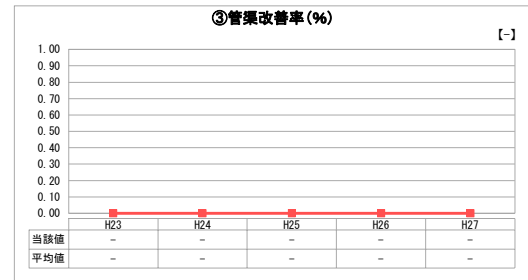
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本市の個別排水処理事業は、収益的収支比率が90%前後で推移しているが、経費回収率が類似団体を下回っており、料金収入によって、維持管理費等を賄いきれない状況が続いており、一般会計からの繰入金に大きく依存している状況である。このため、収入面では水洗化率の向上を図るとともに、料金単価の見直しも今後検討するなど、収入の確保に努めていく必要がある。また、支出面ではメンテナンス方法の見直し等により、維持管理費の削減に努めていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

平成12年度の供用開始から14年が経過しているため、老朽化対策として、適切なメンテナンスを実施していくこととしている。

全体総括

料金収入では、維持管理費等を賄いきれず、一般会計からの繰入金に依存している。また、今後は、施設の老朽化対策等による支出が増加していく見込みである。このため、維持管理費等の経常費用を削減するとともに、また、施設の老朽化対策等による支出が増加していく見込みである。このため、維持管理費等の経常費用を削減するとともに、水洗化率の向上による料金収入の増加を図り、経営の健全化に努めたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。